

人工膝関節単顆部置換術における脛骨骨切り角度による
インプラント下骨強度の違いに関する研究

1. 研究の対象

2017年4月1日～2025年3月31日までに当院で内側型変形性膝関節症に対して手術治療（人工膝関節単顆置換術、人工膝関節全置換術、膝周囲骨切り術）を施行された変形性膝関節症の患者さんで、手術前に膝のCT撮影を受けられた方

2. 研究目的・方法

・研究目的

単顆人工膝関節置換術では、脛骨（すねの骨）の一部を切って人工関節を設置します。その「骨を切る角度」によって、人工関節を支える骨の部位が変わります。本研究では、①どの領域の骨が比較的弱いのか、②骨を切る角度の違いで人工関節を支える骨の強さに差が出るのか、を調べることを目的としています。

・研究方法

患者さんの治療のために過去に撮影された手術前X線写真やCT画像のデータなどを使用して研究を行います。追加の検査や放射線被ばくは一切ありません。

CT画像では、骨の状態を示す数値(HU値)を確認できます。本研究では、脛骨の関節面から数mm下の部分について、骨の強さに関連するこの数値を測定し、骨を切る角度の違いによる差を比較します。

研究実施期間：研究実施許可日～2028年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年1月26日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、などの基本情報（個人を直ちに識別できない状態に加工して使用）

画像検査：単純X線写真（下肢の変形の程度を表す数値を計測します）、CT画像データ（骨の強さを示す数値を計測します）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543

秋田県秋田市本道 1-1-1

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系 整形外科学講座

Tel: 018-884-6148

研究責任者：赤川学

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則